

# 県政報告

広島県議会 2月定例会は2月15日から3月18日までの32日間の日程で開催され、令和4年度当初予算、令和3年度2月補正予算及び条例等が審議されました。

## 令和4年度 施策及び事業の基本的な考え方（概要）

### ■新型コロナウイルス感染症への対応

- 感染の拡大を最小限に抑えながら、社会・経済活動を維持し、県民が日常生活を続けられるよう、検査体制の充実や必要な疫学調査の実施などの感染症対策を継続するとともに、感染した場合であっても、必要な保健・医療に着実につなげられる体制の構築に注力する。

### ■アフターコロナを見据えた社会・経済の発展的回復

- 新型コロナにより傷んだ地域社会や県民生活の回復に注力する。市町や関係機関との連携を通じて、コロナ禍で生活に困窮等している方々が直面する課題を受け止め、保健、福祉、雇用等に携わる県内の様々な支援機関が、相互に連携して、本人や家族に寄り添い、継続的な支援に取り組む。
- また、新型コロナとの共存が進む中においても、高齢者人口の増加に伴って医療ニーズが高まる一方で、労働者人口の減少などにより、医療サービスを支える人的な資源は縮小することから、地域医療構想の実現に向けて、効率的な医療提供体制の構築に向けて取り組む。
- 本県経済については、感染拡大防止の観点から複数回にわたり実施した営業時間短縮要請や外出抑制などにより、飲食業や宿泊業などのサービス業を中心に厳しい状況が続いており、事業者の経済活動の継続や雇用維持を支える取組に引き続き注力するとともに、経済の発展的回復に向けて、アフターコロナを見据えた新たなビジネスモデルの構築の支援などに取り組む。
- また、本県の基幹産業であるものづくり産業については、新興国等の外需拡大による生産拠点の海外展開の拡大や、他国の技術力向上などグローバル化による国際競争の激化や新型コロナによる世界市場の停滞など、厳しい経営環境にあり、今後は、AI/IoT、5Gなど急速に進むデジタル技術の活用や、世界的なカーボンニュートラルへの流れに対応した技術開発など、急速な環境変化に柔軟に対応していくことが必要となっている。
- さらに、新型コロナによる社会変化や、人口減少の進展、災害等の危機にも耐え得る強靱な産業構造を実現していく必要があるため、多様化する観光客のニーズを踏まえた取組や、健康・医療関連分野や環境・エネルギー分野など新たな成長産業の育成に向けた取組を企業誘致・集積も含めて進めるとともに、持続的な発展に向けた、多様なイノベーションを生み出す知の集積や集合により、それぞれの取組を加速する環境の整備に注力していく。

### ■新型コロナなどにより顕在化した構造的課題への対応

#### 【適散・適集社会の実現】

- 新型コロナは、改めて、基本的な安全・安心の大切さを県民に認識させるとともに、過度に進行した東京等の大都市圏への集中から「密集・密接・密閉」を避けた人と人との距離を保つ「分散」がもたらす価値に気付かせた。一方で、イノベーションを生み出す知の集積や集合も必要であることから、分散か集中の二者択一的な選択ではなく「適切な分散」と「適切な集中」それぞれの創造が求められている。

- こうした価値観を前提とした新しい社会においては、距離と時間の制約を克服できるデジタル技術の活用を推し進め、テレワークやウェブ会議などの導入による新しい働き方、非対面の中で生み出される人やモノの集積といった新たなサービスの提供など、開放的で快適な環境の創造、豊かな自然環境に囲まれた生活や働き方等を推進していく。

### 【激甚化・頻発化する気象災害等への対応】

- 異常気象等による激甚化・頻発化する災害リスクに備えていくため計画的な防災施設の整備や既存施設の維持管理、適切な土地利用の促進、防災情報の充実による避難体制の確立、防災・減災に関する取組成果の発信など、ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策の充実・強化に取り組んでいく。

### 【デジタル化への対応】

- 新型コロナ前の状態に戻すという視点ではなく、デジタル技術を活用して、社会・経済活動をより効率的・効果的に行っていくとともに、新たなサービスや価値を生み出すことにより、更なる県民生活の向上や経済発展を実現していく必要がある。
- このため、仕事・暮らしDXにおいては、デジタル技術を活用した産業イノベーションの創出、スマート農業による生産性の向上、オンライン診療など医療・介護サービスの向上、テレワークなど新しい生活様式を踏まえた働き方の推進などに取り組んでいく。
- 地域社会DXにおいては、都市計画基礎調査情報のオープンデータ化や3D都市モデルの構築などデータやデジタル技術を活用したまちづくり、地域交通の課題の解決を図る広島型Ma a Sの推進などを進めていく。
- 行政DXにおいては、行政サービスの向上を図るため、行政手続のオンライン化など県庁自身のデジタル化を強力に進めるとともに、デジタル技術を活用したインフラマネジメントなどに取り組んでいく。

## ■それぞれの欲張りなライフスタイルの実現

### 【県民が抱く不安を軽減し『安心』につなげる】

- 人口減少と少子高齢化の進展や地域経済の成熟化に加え、度重なる災害の発生など、将来に対する先行きの不透明感が増す中で、県民が将来にわたって安心して暮らすことができるよう、県民が抱える不安を軽減し「安心」の土台づくりとなる取組を進めていく。
- 令和4年度は、妊娠期からの切れ目ない見守り・支援の充実や、乳幼児期から社会人まで一貫した人づくりの取組、デジタル技術を活用した県民の健康づくりの推進等を行っていく。また、将来にわたって県民が安心して暮らすことができるよう、ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策や、治安・暮らしの安全の確保等に取り組む。さらに、地球温暖化防止や、プラスチックごみの海洋流出防止など、世界的に深刻化する課題に対して、本県として強みを生かした取組などを推進していく。

### 【県民の『誇り』につなげる強みを伸ばす】

- 県民の挑戦を後押しする土壌につなげる県民の更なる「誇り」の醸成に向けては、これまで取り組んできた観光地の魅力づくりや、豊かな自然がもたらす多彩な食の発信、ものづくりをはじめとした多様な産業の振興などを、新興感染症や災害下にあっても、適切に取組を進めていく。
- 令和4年度は、アフターコロナやSDGsなど、社会環境の変化から発生するニーズを的確に捉え、新たなビジネスやイノベーション創出に向けた取組や農水産物のブランド化、ブランド価値の向上につなげる魅力づくり等に取り組む。また、県内スポーツチームを応援する環境づくりや、文化芸術に親しむ環境の構築、核兵器廃絶に向けて国際的な合意形成を目指した多国間の枠組みづくりを行う。

### 【県民一人一人の夢や希望の実現に向けた『挑戦』を後押し】

- 県民一人一人が、「安心」や「誇り」を原動力として、県内のどこに住んでいても、仕事も暮らしも追求することができ、それぞれの夢や希望に「挑戦」していける基盤を築き、その様々な挑戦の後押しとなる取組を進める。
- 令和4年度は、環境・エネルギー分野など世界的な動向や社会環境の変化をとらえた新たなビジネスモデルの構築を支援する。

### 【特性を生かした適散・適集な地域づくり】

- 本県の強みである「都市と自然の近接性」を最大限生かし、県全体の発展を牽引する魅力ある都市、自然豊かで分散であることを生かした中山間地域及び利便性の高い集約型都市の形成に取り組み、新型コロナ危機後の社会が求める「適切な分散」と「適切な集中」に応じた地域づくりを進めていく。
- 令和4年度は、持続可能な中山間地域の実現のため、地域の課題解決や新たな価値を生み出していくための人材育成や、人を惹きつける魅力ある都心空間の創出に向けて官民一体となったまちづくりの推進、都市機能の集約のための立地適正化計画の策定の推進に取り組む。

## 令和4年度 一般会計当初予算の概要

令和4年度当初予算：1兆1,440億円（対前年度比+502億円）

（令和4年度当初予算＋令和3年度補正予算：1兆1,931億円  
（国の補正予算活用分））

### ～ 重点施策への集中的な取組 ～

#### ■ 新型コロナウイルス感染症への対応

926億円

3つの柱		事業費	
		令和4年度 当初予算	令和3年度 補正予算
感染拡大防止対策	77億円	73億円	4億円
医療提供体制の確保	345億円	345億円	—
事業継続と雇用維持	482億円	352億円	130億円
その他	22億円	10億円	12億円
計	926億円	781億円	146億円

■ アフターコロナを見据えた社会・経済の発展的回復 304億円

施策体系		事業費	
		令和4年度 当初予算	令和3年度 補正予算
社会の修復と発展に向けた取組	209億円	79億円	130億円
経済の発展的回復	95億円	95億円	1億円
計	304億円	174億円	130億円

■ 新型コロナなどにより顕在化した構造的な課題への対応 849億円

施策体系		事業費	
		令和4年度 当初予算	令和3年度 補正予算
適散・適集社会の実現	2億円	2億円	—
激甚化・頻発化する気象災害等への対応	838億円	573億円	265億円
デジタル化への対応	9億円	9億円	1億円
計	849億円	584億円	265億円

■ それぞれの欲張りなライフスタイルの実現 1、094億円

施策体系		事業費	
		令和4年度 当初予算	令和3年度 補正予算
県民の挑戦を後押し	1,090億円	825億円	266億円
県民が抱く不安を軽減し『安心』につなげる	980億円	715億円	265億円
県民の『誇り』につながる強みを伸ばす	94億円	94億円	—
県民一人一人の夢や希望の実現に向けた『挑戦』を後押し	17億円	16億円	1億円
特性を生かした適散・適集な地域づくり	3億円	3億円	—
計	1,094億円	828億円	266億円

※端数処理で計が一致しない場合がある。

## ■条例

- 【新設】広島県犯罪被害者等支援条例 等 (3件)
- 【改正】ひろしまの森づくり県民税条例の一部を改正する条例 等 (21件)

## ■その他議案

- 工事請負契約の締結について 等 (11件)

## ■決議

- ロシアによるウクライナ侵略に対する非難決議
- 佐藤一直議員及び渡辺典子議員に対する辞職勧告決議

## ■意見書

- 地方鉄道の維持・確保を求める意見書
- 在日米軍基地における新型コロナウイルスに対する水際対策の徹底等を求める意見書

令和4年度 福山市関係の予算措置状況

- 福山市関係の令和4年度の予算措置総額は、約186億円となりました。
- 妊娠・出産・子育てのワンストップ相談・支援窓口である「ひろしま版ネウボラ」への継続支援、鞆地区のまちづくりに向けた山側トンネルと関連事業の工事、県道加茂福山線の改良工事など、様々な事業を県と福山市が連携して取り組んでいきます。

【福山市関係予算措置状況】

区 分	予算措置額	主 な 事 業
地域振興関係事業	39億540万円	鞆地区の振興、離島航路運航への支援、生活交通確保への支援、福山駅前再生支援 等
医療・福祉・環境関係事業	10億2,639万円	回復期病床の整備、子育て支援・保育対策、社会福祉施設の整備、不妊治療・周産期医療対策、小型浄化槽設置助成 等
教育・文化関係事業	5億534万円	県立学校の施設整備、福山城築城400年記念行事への負担金、歴史博物館・少年自然の家運営費、文化財保存補助 等
商工関係事業	1,885万円	商工会議所補助、民間遊休地助成 等
インフラ整備 (公共事業)	130億1,413万円	道路、河川、砂防、海岸、港湾、街路、住宅、漁港、箕島地区土地造成、芦田川流域下水道、農業基盤整備、山地治山、治山激甚被害対策、ため池改修、ひろしまの森づくり事業 等
その他	1億2,982万円	交番・駐在所整備事業
合 計	185億9,993万円	

詳しい情報は  
次頁を参照ください！

令和4年度当初予算 及び 令和3年度 12月・2月補正予算(国補正関連)

【福山市関係分の主要施策】

(単位:千円)

区分	施策	予算額	備考
地域振興	鞆地区の振興	3,834,445	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ まちづくりの寄附募集</li> <li>➢ 町中の交通処理対策</li> <li>➢ 防災対策</li> <li>➢ 交通・交流拠点等の整備</li> </ul>
	離島航路運行への支援	21,511	➢ 走島～鞆航路
	生活交通確保への支援	20,000	➢ 市が自主運行するバス路線への補助
	都市圏魅力の創造	24,442	➢ 福山駅前再生支援
	スポーツを活用した地域活性化	5,000	➢ わがまち♡スポーツの推進に係る補助
医療・福祉・環境	小児救急医療体制の確保	39,446	➢ 小児科輪番制の受入体制確保
	看護師養成所の支援	66,353	➢ 運営費補助(2か所)
	がん対策の推進	10,000	➢ がん診療連携拠点病院への補助
	回復期病床の整備	125,280	➢ 病床転換等に要する経費に対する補助
	子育て支援・保育対策	570,330	➢ ひろしま版ネウボラ、地域子育て支援拠点等事業等への補助
	社会福祉施設の整備	105,500	➢ 社会福祉施設の施設整備の補助
	不妊治療・周産期医療対策	61,618	➢ 不妊治療、周産期母子医療センター運営への補助
	小型浄化槽設置整備	16,746	➢ 市の浄化槽個人設置助成事業への補助
その他 補助・助成事業	31,118	➢ 感染症予防、不法投棄防止、外国人受入助成 等	
教育・文化	県立学校施設の整備	305,555	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 福山誠之館～部室改修工事</li> <li>➢ 福山葦陽、大門～内壁等改修工事</li> <li>➢ 福山工業～内外部改修工事、屋上防水工事</li> <li>➢ 松永～崖地等安全対策工事</li> <li>➢ 沼南～崖地等安全対策工事</li> <li>➢ 福山特支～屋上防水設計</li> <li>➢ 神辺～内部改修・屋上防水設計</li> <li>➢ 神辺旭～急傾斜地崩壊対策工事 等</li> </ul>
	文化事業	5,000	➢ 福山城築城400年記念事業への負担金
	各種運営費 等	194,788	➢ 歴史博物館、少年自然の家、文化財保存補助 等
商工	福山商工会議所への補助 等	8,853	➢ 運営費及び事業補助、中小企業知財支援センター運営委託
	企業立地促進対策	10,000	➢ 民間遊休地助成
インフラ整備(公共事業)等	公共事業(農林)	1,141,664	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 基盤整備～神辺、箕島</li> <li>➢ 山地治山～津之郷, 山手</li> <li>➢ 農業農村整備～砂池</li> <li>➢ 治山激甚被害対策～上山守、栗根</li> <li>➢ ため池改修等～川原山池、茂浦池 等</li> <li>(東部農林事務所管内分)</li> </ul>
	公共事業(土木)	10,722,700	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 道路～福山沼隈線、国道182号、中野線</li> <li>➢ 河川～改修(福川等)、高潮対策(藤井川)</li> <li>➢ 砂防～急傾斜地崩壊対策(宮本、秋丸)</li> <li>➢ 海岸～海岸保全施設(一文字地区、江の浦地区)</li> <li>➢ 港湾～港湾改修(原北、鞆地区等)</li> <li>➢ 街路～山手赤坂線</li> <li>➢ 住宅～県営住宅(県営南泉・引野住宅等)</li> <li>➢ 漁港～改修(走、横田、箱崎) 等</li> </ul>
	ひろしまの森づくり事業	20,300	➢ 里山林の保全等に対する交付金
	箕島地区土地造成事業	360,706	➢ 雨水排水路工事等
	芦田川流域下水道事業	768,759	➢ 浄化センターフィーダ盤棟高圧受変電設備更新工事等
その他	交番・駐在所整備事業	129,815	➢ 福山東警察署駅前交番建替工事

注) 予算額、実施箇所は変動する可能性があります。